

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2025年2月28日設定）	
運用方針	イーストスプリング・インド国債マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの現地通貨建ての国債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・インド国債ファンド（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）	イーストスプリング・インド国債マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・インド国債マザーファンド	主としてインドの現地通貨建ての国債に投資します。なお、国債以外のインドの現地通貨建てのソブリン債にも投資する場合があります。
組入制限	イーストスプリング・インド国債ファンド（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）	・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10％以内とします。 ・投資信託証券（マザーファンドの受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5％以内とします。
	イーストスプリング・インド国債マザーファンド	・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10％以内とします。 ・投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5％以内とします。
分配方針	（3ヵ月決算型）毎年2月、5月、8月、11月の各24日（休業日の場合は翌営業日） （年2回決算型）毎年2月24日および8月24日（休業日の場合は翌営業日） 原則として各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

イーストスプリング・ インド国債ファンド （3ヵ月決算型）／（年2回決算型）

（3ヵ月決算型）
第5期（決算日2026年5月25日）
第6期（決算日2026年8月24日）

（年2回決算型）
第3期（決算日2026年8月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング・インド国債ファンド（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）」は、上記の決算を行いましたので、ここに各期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

(3ヵ月決算型)

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落 中 率		
(設定日)	円			円	%	百万円
2025年2月28日	10,000			—	—	66
1期(2025年5月26日)	10,252			50	93.5	92
2期(2025年8月25日)	10,066			50	△1.3	93
3期(2025年11月25日)	10,498			100	95.2	99
4期(2026年2月24日)	10,029			100	△3.5	94
5期(2026年5月25日)	9,542			100	△3.9	87
6期(2026年8月24日)	9,765			100	92.5	87

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。
(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。
(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○当作成期中の基準価額等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率
			騰 落	率	
第5期	(期 首)	円		%	%
	2026年2月24日	10,029		—	90.1
	2月末	10,110		0.8	94.7
	3月末	9,781		△2.5	93.9
	4月末	9,814		△2.1	94.4
	(期 末)				
第6期	2026年5月25日	9,642		△3.9	95.2
	(期 首)				
	2026年5月25日	9,542		—	95.2
	5月末	9,626		0.9	94.5
	6月末	10,154		6.4	94.9
	7月末	9,960		4.4	93.5
	(期 末)				
	2026年8月24日	9,865		3.4	92.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(年 2 回決算型)

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金 期 騰 落 中 率		
(設定日) 2025年 2 月28日	円 10, 000			円 ー %	% ー	百万円 62
1 期(2025年 8 月25日)	10, 164		0	1. 6	91. 9	93
2 期(2026年 2 月24日)	10, 319		0	1. 5	89. 2	107
3 期(2026年 8 月24日)	10, 258		0	△0. 6	91. 8	115

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2026年 2 月24日	円 10, 319		% ー	% 89. 2
2 月末	10, 402		0. 8	94. 7
3 月末	10, 064		△2. 5	93. 9
4 月末	10, 098		△2. 1	94. 4
5 月末	10, 008		△3. 0	94. 8
6 月末	10, 558		2. 3	95. 1
7 月末	10, 356		0. 4	93. 7
(期 末) 2026年 8 月24日	10, 258		△0. 6	91. 8

(注) 騰落率は期首比です。

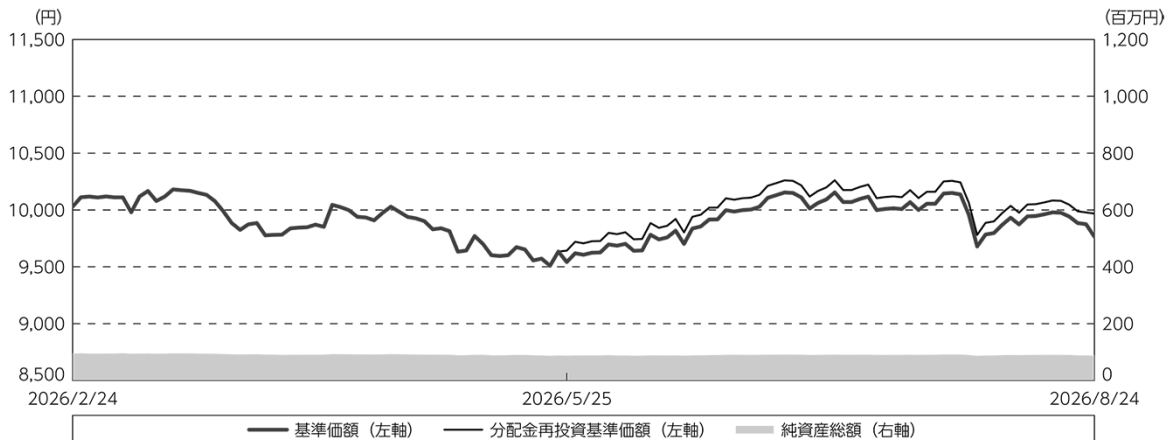
(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(3ヵ月決算型)

○運用経過

(2026年2月25日～2026年8月24日)

基準価額等の推移について



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2026年2月24日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は下落しました。

(下落要因)

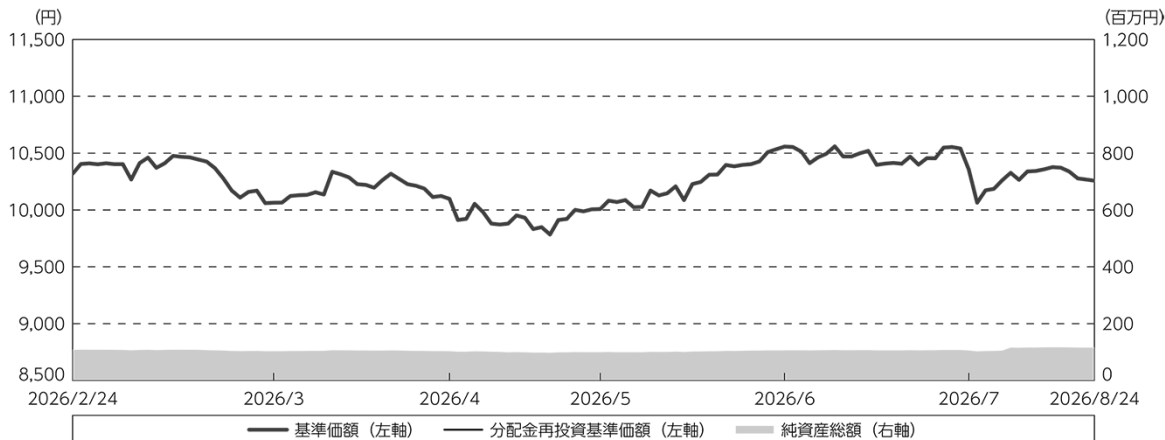
- ・円高インドルピー安

(年2回決算型)

○運用経過

(2026年2月25日～2026年8月24日)

基準価額等の推移について



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2026年2月24日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

(下落要因)

- ・ 円高インドルピー安

(3ヵ月決算型)／年2回決算型)

投資環境について

インド債券市場

当（作成）期初からインド準備銀行（RBI、中央銀行）による国債買入れや流動性供給策が下支えとなり、10年国債利回りは比較的安定して推移しました。その後、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格上昇や、それに伴うインフレ・財政悪化懸念を背景に、利回りは2026年3月にかけて大きく上昇（価格は下落）しました。その後、いったん低下した後も、インドルピー安やインフレ圧力の高まりを受けた金融引き締め観測から再び上昇しました。6月にはRBIが政策金利を据え置いたことに加え、外国人投資家による債券市場への資金流入などが好感され、利回りは低下に転じました。通期ではインド10年国債利回りは小幅に上昇（価格は小幅下落）しました。

為替市場

インドルピーは、当（作成）期初から中東情勢の混乱による原油価格急騰を受けて、原油輸入国であるインドの経常赤字や国際収支の赤字懸念が台頭し、対米ドルで最安値を更新し続けました。2026年6月にRBIが発表した外国資本の流入拡大を目的とした政策対応などが好感され、インドルピーは一時的に買われる局面もみられましたが、通期では対米ドル、対円で下落しました。

ポートフォリオについて

イーストスプリング・インド国債ファンド（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）

イーストスプリング・インド国債マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの国債に投資しました。

イーストスプリング・インド国債マザーファンド

主としてインドの現地通貨建ての国債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(3ヵ月決算型／年2回決算型)

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(3ヵ月決算型) (単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第5期	第6期
	2026年2月25日～ 2026年5月25日	2026年5月26日～ 2026年8月24日
当期分配金	100	100
(対基準価額比率)	1.037%	1.014%
当期の収益	100	100
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	608	660

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 一印は該当がないことを示しています。

(年2回決算型) (単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第3期
	2026年2月25日～ 2026年8月24日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	756

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 一印は該当がないことを示しています。

(3ヵ月決算型／年2回決算型)

○今後の運用方針について

イーストスプリング・インド国債ファンド(3ヵ月決算型)／(年2回決算型)

引き続きイーストスプリング・インド国債マザーファンド受益証券を高位に組入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

イーストスプリング・インド国債マザーファンド

インド国内の経済活動や経済指標などからは、インド経済の底堅さが確認されています。一方で、中東情勢における不透明感から、今後、貿易や投資が世界的に減速する可能性があるほか、需要が改善しないなかで原材料コストの上昇が続けば、生産活動が鈍化する可能性があります。また、生産者物価指数(PPI)が上昇していることや、インド国内のエネルギー小売価格も上昇していることなどから、いずれ消費者物価指数(CPI)に波及する可能性があります。RBIとインド政府は長引くインドルピー安を懸念しているものの、海外からの資金流入拡大を目的とした政策の導入によって、通貨の安定化を図ろうとしています。このため、RBIは銀行システムにおける流動性確保を優先し、通貨防衛のために利上げを実施する必要性は低下しているとみています。

インド国債への投資需要は引き続き国内投資家によって支えられており、向こう数か月間の長期ゾーンの国債発行計画量は市場予想を下回り、長期ゾーンの利回り上昇(価格は下落)を抑制する要因になるとみています。一方で、今後のインド国債市場は国内要因よりもエネルギー価格などのグローバル要因に左右される可能性が高く、不安定な地政学環境が続くなかで、国債市場のボラティリティは高まるとみており、インフレ加速のリスクにも配慮しながら、慎重なスタンスを維持していきます。

(3ヵ月決算型)

○ 1 万口当たりの費用明細

(2026年2月25日～2026年8月24日)

項 目	第5期～第6期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 42	% 0.420	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(27)	(0.273)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.136)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	16	0.163	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(11)	(0.113)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の 移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(4)	(0.044)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合 計	58	0.583	
作成期間の平均基準価額は、9,907円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

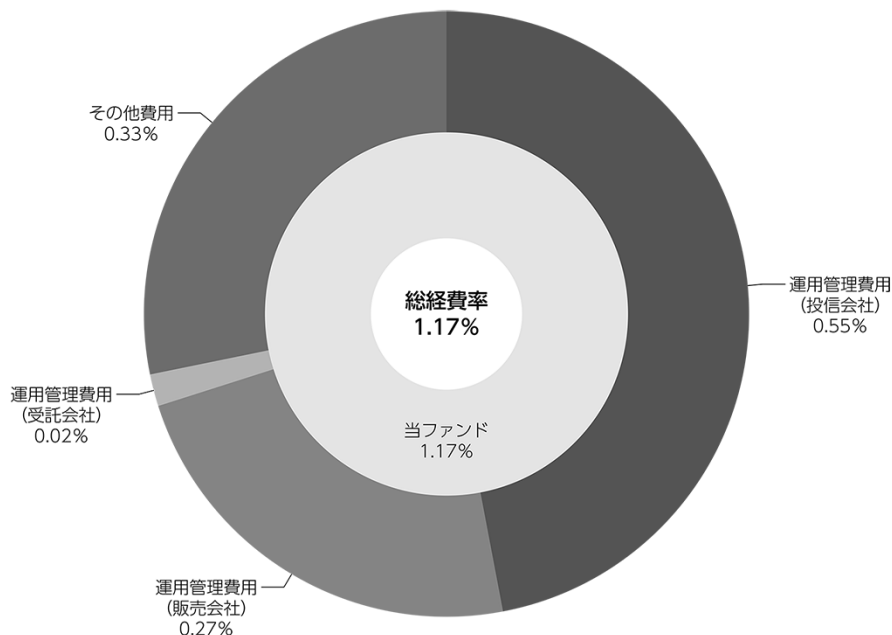
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(3ヵ月決算型)

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド国債ファンド(3ヵ月決算型)／(年2回決算型)

(3ヵ月決算型)

○売買及び取引の状況

(2026年2月25日～2026年8月24日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第5期～第6期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
イーストスプリング・インド国債マザーファンド	千口 12,994	千円 6,947	千口 27,164	千円 14,429

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2026年2月25日～2026年8月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2026年2月25日～2026年8月24日)

作成期首残高 (元本)	当作成期設定 元本	当作成期解約 元本	作成期末残高 (元本)	取 引 の 理 由
百万円 30	百万円 —	百万円 —	百万円 30	当初設定時における取得

(注) 単位未満は切捨てです。

○組入資産の明細

(2026年8月24日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第4期末	第6期末	
		口数	口数	評価額
イーストスプリング・インド国債マザーファンド		千口 178,898	千口 164,727	千円 88,458

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) マザーファンドの2026年8月24日現在の受益権総口数は、380,657千口です。

(3ヵ月決算型)

○投資信託財産の構成

(2026年8月24日現在)

項 目	第6期末	
	評 価 額	比 率
イーストスプリング・インド国債マザーファンド	千円 88,458	% 99.1
コール・ローン等、その他	827	0.9
投資信託財産総額	89,285	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) イーストスプリング・インド国債マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(197,881千円)の投資信託財産総額(205,226千円)に対する比率は96.4%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2026年8月24日における邦貨換算レートは、1米ドル=158.81円、1インドルピー=1.67円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第5期末	第6期末
	2026年5月25日現在	2026年8月24日現在
	円	円
(A) 資産	89,740,723	89,285,733
コール・ローン等	64,632	3,234
イーストスプリング・インド国債マザーファンド(評価額)	88,274,269	88,458,895
未収入金	1,401,821	823,604
未収利息	1	—
(B) 負債	2,593,702	1,954,491
未払収益分配金	913,289	894,299
未払解約金	1,466,453	826,838
未払信託報酬	191,448	188,663
その他未払費用	22,512	44,691
(C) 純資産総額(A－B)	87,147,021	87,331,242
元本	91,328,901	89,429,957
次期繰越損益金	△ 4,181,880	△ 2,098,715
(D) 受益権総口数	91,328,901口	89,429,957口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,542円	9,765円

(注) 元本の状況

当ファンドの第5期首元本額は94,460,143円、第5～6期中追加設定元本額は11,616,702円、第5～6期中一部解約元本額は16,646,888円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第5期0.9542円、第6期0.9765円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(3ヵ月決算型)

○損益の状況

項 目	第5期	第6期
	2026年2月25日～ 2026年5月25日	2026年5月26日～ 2026年8月24日
	円	円
(A) 配当等収益	128	374
受取利息	128	374
(B) 有価証券売買損益	△3,263,638	2,931,113
売買益	159,668	3,191,691
売買損	△3,423,306	△260,578
(C) 信託報酬等	△213,960	△210,842
(D) 当期損益金(A+B+C)	△3,477,470	2,720,645
(E) 前期繰越損益金	△2,482,759	△6,313,225
(F) 追加信託差損益金	2,691,638	2,388,164
(配当等相当額)	(4,336,927)	(4,343,373)
(売買損益相当額)	(△1,645,289)	(△1,955,209)
(G) 計(D+E+F)	△3,268,591	△1,204,416
(H) 収益分配金	△913,289	△894,299
次期繰越損益金(G+H)	△4,181,880	△2,098,715
追加信託差損益金	2,691,638	2,388,164
(配当等相当額)	(4,361,632)	(4,367,295)
(売買損益相当額)	(△1,669,994)	(△1,979,131)
分配準備積立金	1,200,346	1,535,871
繰越損益金	△8,073,864	△6,022,750

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の25を上限とする率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注) 分配金の計算過程

第5期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,117,003円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(4,361,632円)および分配準備積立金(996,632円)より分配対象収益は6,475,267円(10,000口当たり708円)であり、うち913,289円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

第6期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,323,820円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(4,367,295円)および分配準備積立金(1,106,350円)より分配対象収益は6,797,465円(10,000口当たり760円)であり、うち894,299円(10,000口当たり100円)を分配金額としております。

(3ヵ月決算型)

○分配金のお知らせ

	第5期	第6期
1万口当たり分配金(税込み)	100円	100円

◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額がその後の新たな個別元本となります。

◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

○お知らせ

2026年4月1日付で一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会が統合し、「一般社団法人資産運用業協会」となりましたので、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(年2回決算型)

○1万口当たりの費用明細

(2026年2月25日～2026年8月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 43	% 0.420	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(28)	(0.273)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.136)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	17	0.163	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(12)	(0.113)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の 移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(5)	(0.045)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
合 計	60	0.583	
期中の平均基準価額は、10,247円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

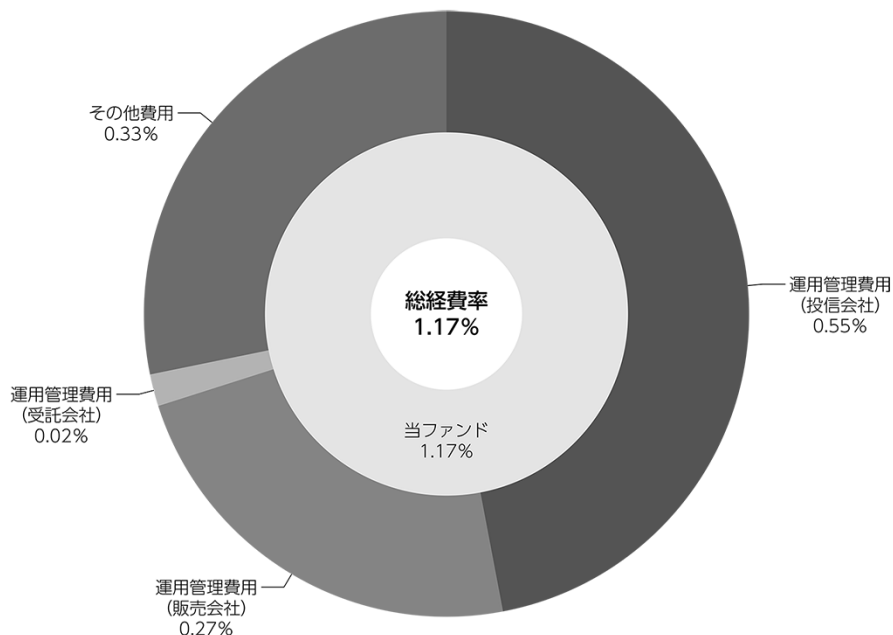
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(年2回決算型)

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド国債ファンド(3ヵ月決算型)／(年2回決算型)

(年2回決算型)

○売買及び取引の状況

(2026年2月25日～2026年8月24日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
イーストスプリング・インド国債マザーファンド	31,738	17,058	16,473	8,731

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2026年2月25日～2026年8月24日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2026年2月25日～2026年8月24日)

期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取 引 の 理 由
百万円 30	百万円 －	百万円 －	百万円 30	当初設定時における取得

(注) 単位未満は切捨てです。

○組入資産の明細

(2026年8月24日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
イーストスプリング・インド国債マザーファンド	200,665	215,929	115,954

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) マザーファンドの2026年8月24日現在の受益権総口数は、380,657千口です。

イーストスプリング・インド国債ファンド(3ヵ月決算型)／(年2回決算型)

(年2回決算型)

○投資信託財産の構成

(2026年8月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
イーストスプリング・インド国債マザーファンド	千円 115,954	% 100.0
コール・ローン等、その他	0	0.0
投資信託財産総額	115,954	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) イーストスプリング・インド国債マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（197,881千円）の投資信託財産総額（205,226千円）に対する比率は96.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2026年8月24日における邦貨換算レートは、1米ドル=158.81円、1インドルピー=1.67円です。

(年2回決算型)

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年8月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	115,954,256
コール・ローン等	203
イーストスプリング・インド国債マザーファンド(評価額)	115,954,053
(B) 負債	493,629
未払解約金	203
未払信託報酬	441,474
その他未払費用	51,952
(C) 純資産総額(A－B)	115,460,627
元本	112,560,925
次期繰越損益金	2,899,702
(D) 受益権総口数	112,560,925口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,258円

- (注) 元本の状況
期首元本額 104,091,509円
期中追加設定元本額 19,869,332円
期中一部解約元本額 11,399,916円
(注) 1口当たり純資産額は1.0258円です。
(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況 (2026年2月25日～2026年8月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	303
受取利息	303
(B) 有価証券売買損益	△ 119,992
売買益	221,026
売買損	△ 341,018
(C) 信託報酬等	△ 493,426
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 613,115
(E) 前期繰越損益金	1,050,542
(F) 追加信託差損益金	2,462,275
(配当等相当額)	(1,817,741)
(売買損益相当額)	(644,534)
(G) 計(D＋E＋F)	2,899,702
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	2,899,702
追加信託差損益金	2,462,275
(配当等相当額)	(1,907,328)
(売買損益相当額)	(554,947)
分配準備積立金	6,611,060
繰越損益金	△6,173,633

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の25を上限とする率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。
(注) 分配金の計算過程
計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,762,516円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,907,328円)および分配準備積立金(3,848,544円)より分配対象収益は8,518,388円(10,000口当たり756円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

当期の分配金は、基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

○お知らせ

2026年4月1日付で一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会が統合し、「一般社団法人資産運用業協会」となりましたので、投資信託約款に所要の変更を行いました。

イーストスプリング・インド国債マザーファンド 運用報告書

第2期（決算日：2026年8月24日）
（計算期間：2025年8月26日～2026年8月24日）

「イーストスプリング・インド国債マザーファンド」の第2期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてインドの現地通貨建ての国債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	主としてインドの現地通貨建ての国債に投資します。なお、国債以外のインドの現地通貨建てのソブリン債にも投資する場合があります。
組入制限	・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10％以内とします。 ・投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5％以内とします。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率		
(設定日)	円	%	%	百万円
2024年 8 月 26 日	10,000	—	—	1
1 期 (2025年 8 月 25 日)	5,272	△47.3	91.6	188
2 期 (2026年 8 月 24 日)	5,370	1.9	91.4	204

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

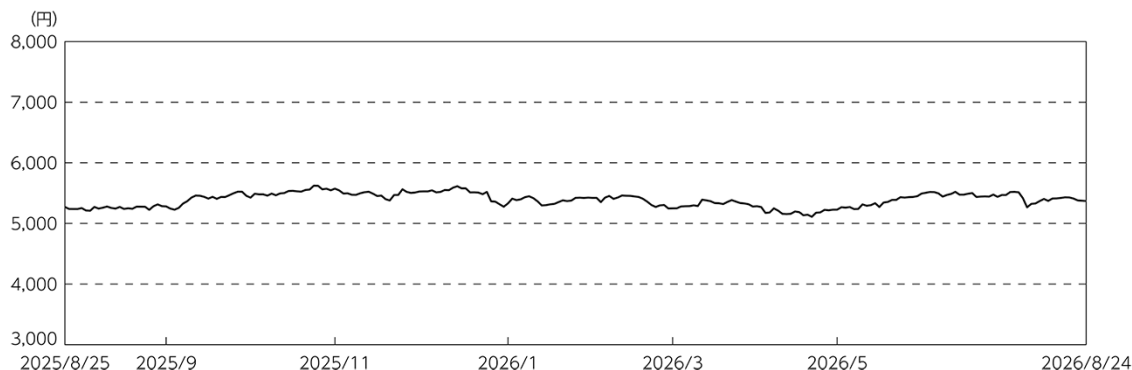
○当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比 率	券 率
		騰 落 率		
(期 首)	円	%		%
2025年 8 月 25 日	5,272	—		91.6
8 月末	5,253	△0.4		93.5
9 月末	5,281	0.2		92.5
10月末	5,480	3.9		95.1
11月末	5,574	5.7		94.4
12月末	5,529	4.9		59.5
2026年 1 月末	5,331	1.1		93.8
2 月末	5,421	2.8		94.7
3 月末	5,249	△0.4		93.8
4 月末	5,271	△0.0		94.2
5 月末	5,228	△0.8		94.5
6 月末	5,519	4.7		94.8
7 月末	5,418	2.8		93.3
(期 末)				
2026年 8 月 24 日	5,370	1.9		91.4

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 設定日の基準価額は設定時の価額です。

基準価額の推移について



基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

保有するインド国債の価格上昇。

投資環境について

インド債券市場

期首から2025年11月までインド準備銀行（RBI、中央銀行）による緩和的な姿勢やインフレの鈍化などを背景に利回りは低下しました。12月以降は、市場流動性のひっ迫や米国債などの利回り上昇、また2026年2月に公表予定のインド国家予算案で国債が増発されるとの懸念などを背景に、利回りは上昇しました。国家予算案の発表後は、RBIによる国債買入れや流動性供給策が下支えとなり、利回りは安定して推移しましたが、中東情勢の緊迫化による原油価格上昇や、それに伴うインフレ・財政悪化懸念を背景に、利回りは3月には大きく上昇（価格は下落）しました。その後、利回りがいったん低下する局面も見られましたが、インドルピー安やインフレ圧力の高まりを受けた金融引き締め観測から再び上昇しました。6月には、RBIが政策金利を据え置いたことに加え、外国人投資家による債券市場への資金流入などが好感され、利回りは低下に転じました。当期ではインド10年国債利回りは上昇しました。

為替市場

期首から米印間の貿易交渉不透明感を背景に、インドルピーは2026年1月まで対米ドルで下落しました。2月初旬に米印間で貿易交渉が合意に達したことで、貿易をめぐる不透明感が後退し、インドルピーは対米ドルで下落幅を縮小させました。しかしその後、中東情勢の混乱による原油価格急騰を受けて、原油輸入国であるインドの経常赤字や国際収支の赤字懸念が台頭し、インドルピーは対米ドルで最安値を更新し続けました。6月にRBIが発表した外国資本の流入拡大を目的とした政策対応などが好感され、インドルピーは一時的に買わ

れる局面もみられましたが、通期では対米ドル、対円で下落しました。

ポートフォリオについて

主としてインドの現地通貨建ての国債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

○今後の運用方針について

インド国内の経済活動や経済指標などからは、インド経済の底堅さが確認されています。一方で、中東情勢における不透明感から今後、貿易や投資が世界的に減速する可能性があるほか、需要が改善しないなかで原材料コストの上昇が続けば、生産活動が鈍化する可能性があります。また生産者物価指数（PPI）が上昇していることやインド国内のエネルギー小売価格も上昇していることなどから、いずれ消費者物価指数（CPI）に波及する可能性があります。RBIとインド政府は長引くインドルピー安を懸念しているものの、海外からの資金流入拡大を目的とした政策の導入によって、通貨の安定化を図ろうとしています。このため、RBIは銀行システムにおける流動性確保を優先し、通貨防衛のために利上げを実施する必要性は低下しているとみています。

インド国債への投資需要は引き続き国内投資家によって支えられており、向こう数か月間の長期ゾーンの国債発行計画量は市場予想を下回り、長期ゾーンの利回り上昇（価格は下落）を抑制する要因になるとみています。一方で、今後のインド国債市場は国内要因よりもエネルギー価格などのグローバル要因に左右される可能性が高く、不安定な地政学環境が続くなかで、国債市場のボラティリティは高まるとみており、インフレ加速のリスクにも配慮しながら、慎重なスタンスを維持していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年 8 月26日～2026年 8 月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 15	% 0.287	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(8)	(0.156)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他 1)	(7)	(0.131)	信託管理事務に係る手数料およびインドの税務代理人に対する手数料等
合 計	15	0.287	
期中の平均基準価額は、5,379円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年 8 月26日～2026年 8 月24日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	インド	国債証券	千インドルピー 184,579	千インドルピー 171,647

(注) 金額は受渡し代金です（経過利子分は含まれておりません。）。

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2025年 8 月26日～2026年 8 月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年8月24日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	額面金額	当 期		期 末		残存期間別組入比率		
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
インド	千インドルピー 111,200	千インドルピー 111,839	千円 186,772	% 91.4	% 0.0	% 91.4	% —	% —
合 計	111,200	111,839	186,772	91.4	0.0	91.4	—	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注) —印は組入れなしです。

(注) BB格以下組入比率の計算においては、S&Pおよびムーディーズの格付けをもとに、当社が独自の基準で採用した格付けを用いています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
インド			%	千インドルピー	千インドルピー	千円	
	国債証券	6.48% INDIA GOVT BOND	6.48	13,200	12,856	21,469	2035/10/ 6
		6.68% INDIA GOVT BOND	6.68	23,500	22,919	38,274	2040/ 7 / 7
		6.92% INDIA GOVT BOND	6.92	3,300	3,294	5,501	2039/11/18
		7.1% INDIA GOVT BOND	7.1	36,000	36,673	61,244	2034/ 4 / 8
		7.18% INDIA GOVT BOND	7.18	17,000	17,348	28,971	2037/ 7 /24
		7.23% INDIA GOVT BOND	7.23	1,500	1,536	2,566	2039/ 4 /15
		7.24% INDIA GOVT BOND	7.24	1,200	1,174	1,960	2055/ 8 /18
		7.3% INDIA GOVT BOND	7.3	3,500	3,427	5,723	2053/ 6 /19
		7.54% INDIA GOVT BOND	7.54	9,000	9,416	15,725	2036/ 5 /23
		7.95% INDIA GOVT BOND	7.95	3,000	3,194	5,334	2032/ 8 /28
合 計						186,772	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2026年 8 月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	186, 772	91. 0
コール・ローン等、その他	18, 454	9. 0
投資信託財産総額	205, 226	100. 0

- (注) 評価額の単位未満は切捨てです。
- (注) 外貨建純資産（197, 881千円）の投資信託財産総額（205, 226千円）に対する比率は96. 4％です。
- (注) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2026年 8 月24日における邦貨換算レートは、1米ドル=158. 81円、1インドルピー=1. 67円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年8月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	205,226,390
コール・ローン等	15,372,897
公社債(評価額)	186,772,409
未収利息	2,940,474
前払費用	140,610
(B) 負債	823,604
未払解約金	823,604
(C) 純資産総額(A－B)	204,402,786
元本	380,657,261
次期繰越損益金	△176,254,475
(D) 受益権総口数	380,657,261口
1万円当たり基準価額(C／D)	5,370円

(注) 元本の状況

期首元本額	356,785,269円
期中追加設定元本額	685,578,074円
期中一部解約元本額	661,706,082円
期末における元本の内訳	
イーストスプリング・インド国債ファンド(年2回決算型)	215,929,337円
イーストスプリング・インド国債ファンド(3ヵ月決算型)	164,727,924円

(注) 1口当たり純資産額は0.5370円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

○損益の状況 (2025年8月26日～2026年8月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	12,885,191
受取利息	12,885,191
(B) 有価証券売買損益	△ 20,690,370
売買益	4,937,631
売買損	△ 25,628,001
(C) 保管費用等	△ 637,732
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 8,442,911
(E) 前期繰越損益金	△168,674,154
(F) 追加信託差損益金	△308,812,949
(G) 解約差損益金	309,675,539
(H) 計(D＋E＋F＋G)	△176,254,475
次期繰越損益金(H)	△176,254,475

(注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

2026年4月1日付で一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会が統合し、「一般社団法人資産運用業協会」となりましたので、投資信託約款に所要の変更を行いました。